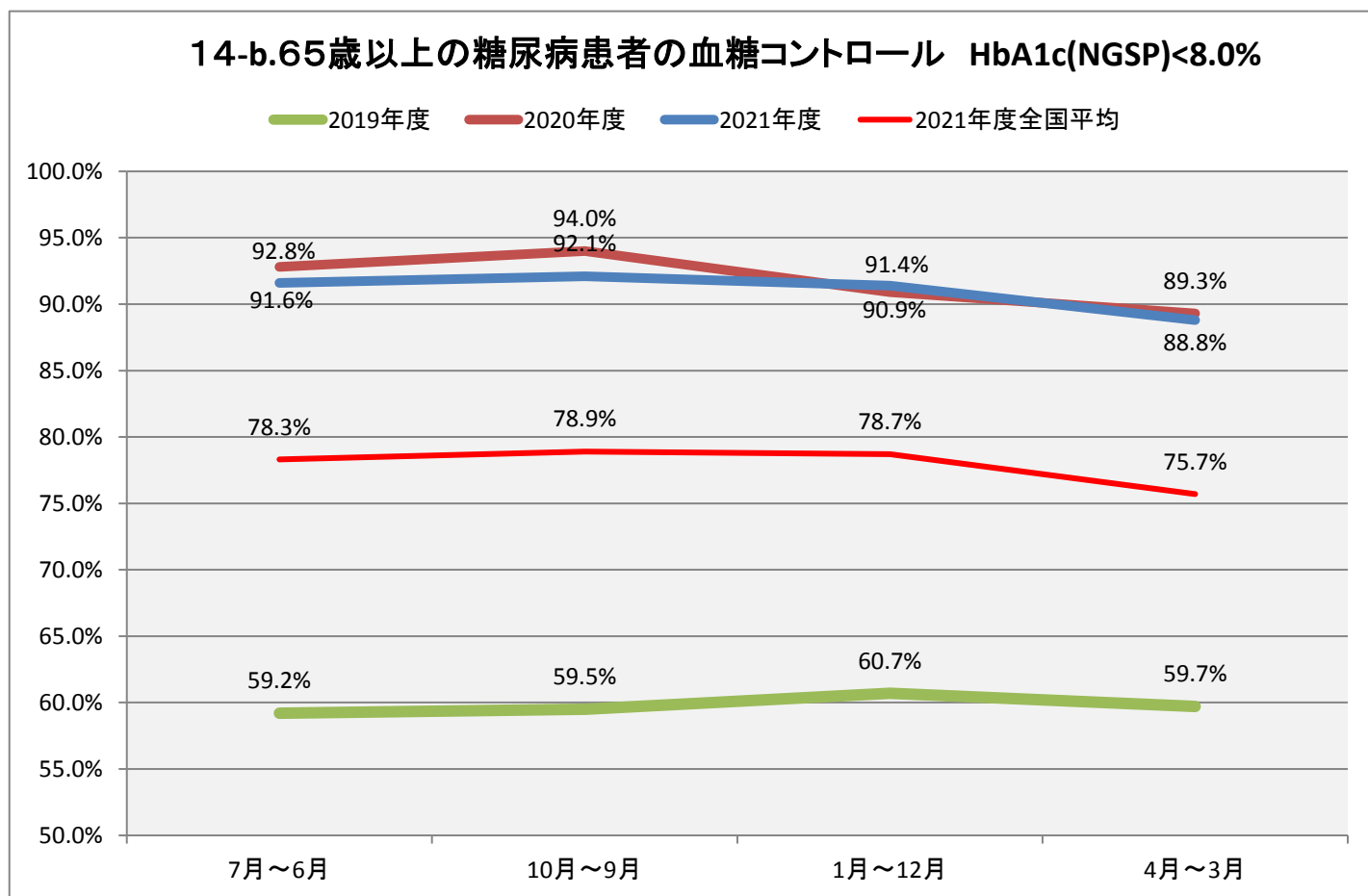


14-b.65歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c(NGSP)<8.0%

(1) 調査結果



調査期間	7月～6月	10月～9月	1月～12月	4月～3月
2021年度	91.6%	92.1%	91.4%	88.8%
2020年度	92.8%	94.0%	90.9%	89.3%
2019年度	59.2%	59.5%	60.7%	59.7%
2021年度全国平均	78.3%	78.9%	78.7%	75.7%

(2) 指標の説明

HbA1cは、過去2～3ヶ月間の血糖値のコントロール状態を示す指標です。糖尿病合併症、特に細血管合併症の頻度はHbA1cに比例しており、合併症を予防するためには、HbA1cを7.0%以下に維持することが推奨されています。したがって、HbA1cが7.0%以下にコントロールされている患者さんの割合を調べることは、糖尿病診療の質を判断する指標の1つであると考えられます。ただし、各患者さんの条件に応じて目標値を変えることが真の糖尿病治療の”質”であり、専門医があえてHbA1cを高めに維持している患者さんもいます。2019年度から65歳以上の患者に対するHbA1c8.0%未満の割合を採用しました。

(3) 定義

分子: HbA1c(NGSP)の最終値が8.0%未満の65歳以上の外来患者数
 分母: 糖尿病の薬物治療を施行されている65歳以上の外来患者数